

平成 29 年 1 月 13 日（金）開会

平成 29 年 1 月 13 日（金）閉会

（第 3 回）

平成 28 年度

北栄町高校生議会会議録

北栄町議会

平成 28 年度北栄町高校生議会会議録

平成 29 年 1 月 13 日 (金曜日)

議事日程

平成 29 年 1 月 13 日 午前 9 時 30 分開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 諸般の報告
日程第 4 一般質問
-

出席議員 (16 名)

- 1 班 吉 田 豪 君・塩川直人君・高嶋優奈君
2 班 福 庭 優 君・丸 山 晶 君
3 班 岡野陸玖君・植波航君
4 班 清水省吾君・山根恵大君・赤坂智輝君
5 班 横木琢也君
6 班 西村太朗君・和田誉也君
7 班 山本一彰君・小川元気君・福見一城君
-

議長 (1 名)

議 長 米 田 渉 君

欠席 (2 名)

事務局 水 さ く ら 君 事務局 永 田 舞 生 君

(北栄町議会事務局出席職員職氏名)

事務局長 ----- 磯江恵子君 主事 ----- 松本睦美君
事務補佐員 ----- 長谷川利恵君

説明のため出席した者の職氏名

町長 ----- 松本昭夫君 副町長 ----- 西尾浩一君

教育委員長	福光純一君	教育長	別本勝美君
会計管理者 (兼)出納室長	齋尾博樹君	総務課長	手嶋俊樹君
企画財政課長	小澤靖君	税務課長	大庭由美子君
住民生活課長	倉光颯君	福祉課長	田中英伸君
健康推進課長	吉田千代美君	産業振興課長	手嶋寿征君
地域整備課長	吉岡正雄君	教育総務課長	磯江昭徳君
生涯学習課長	杉本裕史君	選挙管理委員長	吉田康弘君

午前9時17分 高校生発表

○事務局長（磯江 恵子君） 皆さんおはようございます。時間になりましたので、平成28年度北栄町高校生議会をはじめたいと思います。

この高校生議会は、鳥取中央育英高等学校が取り組んでいる「地域探究の時間」の推進と、今年度の成果発表の場として、また、選挙権年齢が18歳以上となったことに伴い、主権者教育の一環として、次世代を担う高校生に地元北栄町の町政・町議会への関心を高めてもらうことを目的に開催するものです。また、主権者教育の一環として位置づけたことにより、本日は、選挙管理委員会委員長にご出席いただき、また選挙管理委員の皆さまにも傍聴にお越しいただいています。ありがとうございます。

それでは高校生発表に移ります。はじめに、鳥取中央育英高等学校 御船斎紀校長にごあいさついただきます。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

○校長（御船 斎紀君）

おはようございます。鳥取中央育英高校校長の御船と申します。本日は、高校生議会を開催いただきましてありがとうございます。北栄町議会の皆様、そして、松本昭夫町長様はじめ北栄町の皆様方に深く感謝申し上げます。

本校では「地域探究の時間」という探究活動を進めております。これにつきましても、北栄町さんに推進協約を結んでいただきまして、全面的なバックアップをいただいております。地域の方々、地域で活躍される方々を講師にお招きいたしまして、北栄町を中心とした中部地区という地域をフィールドとして、高校生たちがまず地域に出会う、地域の魅力に気づき、あるいはそのプロセスで課題や問題にも出会います。それについて自分たちの知識を総動員したり、あるいはいろいろなところを調査したり、研究したりして、講師の方々のご指導を受けながら一定程度の解決案というものを考えていきます。そこまで地域探究の時間で取り組んでおりますけども、今回このような高校生議会という、いわゆる社会に対してそうした考えを働きかける機会を得たことを本当にありがたいと思います。

選挙権年齢が18歳に引き下げられました。すなわち、高校生に主権者として、公民としての期待がかけられているということでございます。「地方自治は民主主義の学校である」という言葉がありますけれども、まさに民主主義社会をこれから生きていく子どもたち若者の、それを

育成していくすばらしい理想的なプログラムが、皆様方のおかげでできたということでございます。本当に本校の生徒たちは恵まれていると思います。

先日、ケーブルテレビで北栄町の成人式の様子が放送されておりました。そこでのインタビューで県外にいると思われる若者の方々が、もうロ々に「北栄町に帰りたい」「北栄町で働きたい」「北栄町、大好きだ」と口をそろえて言っていました。若者が住みたいと思う、働きたいと思う、大好きだと言われる町というのはすばらしいことです。おそらく、若者の声を聞いてやろう、あるいは若者が成長していくことに本当に手間暇かけることをいとわない、そういう町のあり方、そこからきているのではないかとつくづく感じました。

本日、こうした場を設定していただきましたし、さらに本校の取り組んでおります「地域探究の時間」の発表の一端も発表させていただく機会もいただきました。本来は、他の県内の高校、あるいは県外の同じように地域探究を進めている学校の生徒さんを本校に呼びまして、一堂に会して発表したり、意見交換をしたりする場で発表する内容でございましたけれども、御承知のように鳥取県中部地震で中止せざるを得ませんでした。来年はしっかりやりますので、ぜひおいでいただきたいと思いますけれども、その内容を発表させていただく機会をいただきました。本当に皆様方に感謝申し上げます。

それではきょう一日よろしく願いいたします。

○事務局長（磯江 恵子君） ありがとうございます。それでは研究発表班の皆さん、発表をお願いします。

（研究発表班による発表「都会から見た鳥取 2016」）

発表生徒名：和田 誉也 君・山田 涼太 君・梅津 篤哉 君・中村 航大 君
宮崎 剛志 君・住田 歩 君・森永 結女 君

○事務局長（磯江 恵子君） 研究発表班の皆さん、力強いメッセージありがとうございます。今一度、大きな拍手をお願いします。

それでは、研究発表班の皆さんは傍聴席に移動をします。少し片づけもしますので、お時間を頂戴します。執行部教育部局の職員の皆さんは会場の中にお入りください。

午前 9 時 37 分 高校生議会開会式

○事務局長（磯江 恵子君） 改めまして、高校生議会の開会式に移ります。

はじめに、北栄町議会副議長 浜本武代がごあいさついたします。

北栄町議会副議長あいさつ

○副議長（浜本 武代君） 皆さん、改めましておはようございます。雪が降ってまいりました。とても寒くなりました。お体には十分お気をつけいただきたいと思います。先ほどの御船校長先生のお話し、そして（研究発表）「都会から見た鳥取 2016」では力強いメッセージをいただきました。本当にありがとうございます。

これから開会します、平成 28 年度第 3 回北栄町高校生議会は、校長先生のお話にもありましたように、昨年 4 月から 2 年生が地域の魅力や課題について探究されました成果を、町政に対して一般質問をしていただきます。高校生議員の皆様には、姿勢を正して、大きい声でゆっくと、思いを質問していただきたいと思います。

御船校長先生はじめ、関わっていただきました多くの先生方、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。また、最後になりましたが、吉田選挙管理委員会委員長様、そして委員会の皆様、今回、高校生議会に御同席いただきましたこと本当にありがとうございました。

○事務局長（磯江 恵子君） 続きまして、松本昭夫北栄町長がごあいさついたします。

北栄町長あいさつ

○町長（松本 昭夫君） 皆さん、おはようございます。そして改めまして、新年あけましておめでとうございます。この高校生議会も 3 回目になるわけであります。皆様方の大変純真な、そしてストレートな質問に対して、町といたしましても精一杯実行できるように努力してまいったところではありますが、またきょうも、すばらしい質問が出ておりますので大変楽しみにしているところでもあります。

また、先ほどは都会から見た鳥取県の姿を、インタビューされたり、あるいはアンケートをとられたりして御提言をいただいたところでもあります。自分が住んでいるところはよいところがなかなか見えないということがあるわけではありますが、やはり都会から見たら、鳥取県はすばらしいなあ、北栄町はすばらしいなあということがたくさんあるわけでもあります。そういう意味では、よい勉強をされたかなと思っております。

今年はとり年ということでもあります。鳥は空を飛びます。上から俯瞰するような形でものごとを見えるということも、一つのもの見方だろうと、こう思っております。なかなか身近では見えないことが、やはり上から見れば見えてくることがありますので、ものごとにはいろんな見方がある中で、今年はそのような見方もしていただければありがたいかなと思っております。

18 歳になりましたら選挙権が付与されるわけでもありますので、いろいろ勉強等していただいて、そしてまた、自分が強い考え方をもっていただいて、これからも選挙、あるいは国の動き、地域の動きに目を向けていただいて、よりよい地域づくり、国づくりに向けてこれからも頑張っていたきたいと思っておりますし、またそのためには、学生時代に勉強するということが大切でありますので、これからも一生懸命勉強して、地域のためになるように、そして地域に貢献できるように頑張っていたきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。きょうは本当にありがとうございました。

○事務局長（磯江 恵子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 米田渉生徒会長にあいさつをお願いします。

鳥取中央育英高等学校生徒会長あいさつ

○生徒会長（米田 渉君） 鳥取中央育英高等学校生徒会長の米田渉です。本日は、私たち高校生が「地域探究の時間」で調べたり、考えたりしたことを、北栄町に提案させていただく機会をつくっていただきありがとうございます。少しでも私たちの提案が取り入れられ、北栄町の活性化につながればと思います。本日はよろしく願いします。

○事務局長（磯江 恵子君） それでは、これより高校生議会の本会議をはじめます。

北栄町議会副議長による、高校生議長の指名

- 副議長（浜本 武代君） 高校生議会の開会にあたり、議長として、米田涉さんを指名いたします。

午前9時43分開会

- 議長（米田 涉君） ただいま、議長の指名を受けました、鳥取中央育英高校2年の米田涉です。鳥取中央育英高校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしく申し上げます。
- 議長（米田 涉君） それでは会議をはじめます。ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、これより平成28年度北栄町高校生議会を開会します。
- 直ちに本日の会議を開きます。
- 本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（米田 涉君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本会期中の会議録署名議員は、議長において、1班の、吉田豪議員、塩川直人議員を指名します。

日程第2 会期の決定

- 議長（米田 涉君） 日程第2、会期の決定を議題とします。
- お諮りします。今回の会期は、本日1日としたいと思います。これに御異議ありませんか。
- 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 議長（米田 涉君） 御異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日間と決定しました。

日程第3 諸般の報告

- 議長（米田 涉君） 日程第3、諸般の報告をします。
- 本会議の出席者は、お手元に配布の資料のとおりです。

日程第4 一般質問

- 議長（米田 涉君） 日程第4、一般質問を行います。
- 届け出順により、順次質問を許します。
- 1班 吉田豪議員、塩川直人議員、高嶋優奈議員。
- 議員（1班 吉田 豪君） 吉田豪です。小型移動式太陽光発電装置を、避難所に置いてはどうかについて町長に質問します。
- 小型移動式太陽光発電装置はこれ自体で発電でき、その発電した電気を貯めることができます。この装置があれば、災害時に停電しても電気の復旧が早くできます。この装置をもしもの

ために各避難所に置いてはどうでしょうか。

○議員（1班 塩川 直人君） 塩川直人です。不法投棄対策として、監視カメラの設置について町長に質問します。

地域探究の調査で北栄町役場に確認した結果、北栄町の不法投棄の件数は、平成23年16件、平成24年22件、平成25年12件、平成26年22件とあまり変化がありません。現在北栄町では、不法投棄対策として看板設置をしていると聞きましたが、それだけでは不十分に感じられます。風力発電の売電収入の一部を活用して、監視カメラの設置をしようかどうか。

○議員（1班 高嶋 優奈君） 高嶋優奈です。同じ境遇の人が一緒に暮らせる場所を、病院のすぐそばに設けるのはどうかを町長にお聞きします。

地域探究で厚生病院に行き話を聞いてみると、近年、病院側としては入院している人を家に帰したいが、家で世話をしてくれる人がいないため、家に帰しにくいという現状があるそうです。

また、老人ホームと提携はしていても、離れていることが多く、高齢者にやさしい町とはいえません。それは北栄町でも同じ現状があるのではないかと考えました。

そこで、同じ境遇の人たちが一緒に暮らして、悩みや不安を分かち合いながら生活できるような場所を、病院と併設してつくってはどうでしょうか。

また、家族のいない患者を集めて、県から支援金を出してもらって暮らすのはどうでしょうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はじめに、吉田議員のご質問にお答えします。

小型移動式太陽光発電装置を避難所に置いてはどうかということについてでございます。

災害が発生した場合に、ライフラインに大きな影響を与えるものの一つに電力の供給が停止すること、いわゆる停電が考えられます。停電の原因が送電設備によるものであれば、復旧には多くの日数を要する場合があります。

このような状況が想定される中、どのような方法で避難所の電力を確保するかでございますが、北栄町の現在の計画では、発電機は町で保有しているものはほとんどありませんので、県が備蓄保管しているものや、町と協定を結んでいる町内の建設業者から借り受ける方法を予定しています。発電方式は、ガソリンを使用する燃料式のタイプであります。

議員ご提案の小型で移動可能な太陽光発電機ですが、燃料が入手しにくくなる災害時でも太陽光がありさえすれば繰り返し電気を供給できること、また、固定式のものとは違い、必要とする場所に持ち込むことができ、使う場所を選ばないことがメリットとして上げられています。このため、特に災害時に能力を発揮できると期待されるものであります。

その一方で、太陽光が不足する冬場や雨天のときはどうなるのか、発電（充電）時間もかなりの時間がかかるのではないかとといった点が弱点に上げられ、いざというときの実用性が疑問視されている面もあります。

もちろん、他の非常用発電機であっても特長には一長一短があり、災害場面でこれが一番と言えるものはありません。また、災害対策は一つの方法だけで安心するのではなく、その方法

がだめであっても代わりとなる方法を確保しておく、二重三重の備えが大切ですので、今後、町独自で非常用発電設備を保有しなければならないときには、移動式太陽光発電機についても選択肢から外すことなく、機種選定の候補の一つに加えていきたいと考えています。また電気自動車からの災害時の発電という方法も考えてみたいと思っているところであります。

次に、塩川議員のご質問にお答えします。

不法投棄対策として監視カメラを設置してはとのご質問でございます。

まず、ご質問にありました不法投棄の件数については、高校の地域探究の時間の資料からということでございますが、お示しの件数は町に対する相談件数等ございまして、これら相談をもとに町が対処した不法投棄の処理件数は、平成23年度16件、平成24年度22件、平成25年度6件、平成26年度13件、平成27年度27件で年によって変動がございます。また、相談件数と処理件数に差があるのは、不法投棄ではない場合があったり、単なる情報提供の場合があることから生じたものであります。

これら不法投棄の内容としては、単なるゴミのポイ捨てから、冷蔵庫等といった大型ゴミの放置、さらには数年間にわたって集団投棄されていたものなど様々なケースがあるところでございます。

なお、不法投棄に共通した一つの傾向として、人目につかないところを狙って行なわれる傾向がございます。このような中で町といたしましては、県とも連携しながら不法投棄を発生させない取り組みに力を入れております。その取り組みの一つとして、不法投棄による違法性や罰則を理解していただくために、安価であらゆるところに設置でき、人が見ていることをアピールすることが出来る看板を、自治会などとも連携しながら設置しているところでございます。

カメラの設置についてでございますが、投棄者を特定する場合には有効であるものの、非常に高価であるため設置箇所を多くすることが出来ないといった課題もございます。

しかしながら、繰り返し同じ場所に不法投棄が行なわれるような悪質な事例に対しては、県が所有しているカメラを設置するなど、関係機関で連携を図りながら不法投棄の撲滅に向けて取り組みを強化していきたいと考えております。

次に、高嶋議員のご質問にお答えいたします。

同じ境遇の人が一緒に暮らせる場所を、病院のすぐそばに設けるのはどうかとのご質問でございます。

ひとり暮らしの高齢者やお身体の不自由な方、慢性的な病気のある方などの中には、生活の中での不安や困りごとを抱えている方が多くいらっしゃいます。ご提案のように、生活場所のすぐそばに、医療機関や介護サービス機関といった生活を支える機関があることは、高齢者などの生活の安心につながるものであると考えております。

しかしながら、現在、町では、病院のそばに住まいを設けたり、同じ境遇の方が共同で生活できる場所をつくるような取り組みは考えていないところであります。町といたしましては、北栄町のどこにお住いの方でも、その方が住み慣れた場所で、出来る限り生きがいを持って生

活を続けていけるよう、生活を支えていく体制を整備・充実させる必要があると考えております。

その対応策として、現在実施している具体的な取り組みとしては、①町内の医療機関をはじめ、中部圏域の医療機関や介護サービスの提供機関の連携を促進していくこと。②生活のちょっとした困りごとに対して、サポートできる「生活支援サポーター」の養成をしていくこと。③認知症や障がいに対する地域の理解を進め、近隣住民の支え合いの活動を広げていく取り組みなどを行っているところであります。

また、今年度から、地域の住民の皆様や様々な団体、事業所などからの意見をお聞きし、個々にどのような対策、支援ができるのかを検討する場として「ほくえい支え愛協議体」を設置したところであります。こうした取り組みはすぐに成果が出るものではありませんが、医療や介護、生活の支援が一体となって提供され、在宅での生活が安心して送れるように、今後もいろいろな方々のご意見を取り入れながら、引き続き取り組んでいきたいと考えているところであります。

○議長（米田 渉君） 吉田豪議員、塩川直人議員、高嶋優奈議員。

○議員（1班 吉田 豪君、塩川 直人君、高嶋 優奈君） 以上で1班の質問は終わります。

○議長（米田 渉君） 以上で、吉田豪議員、塩川直人議員、高嶋優奈議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（米田 渉君） 2班、福庭優議員、丸山晶議員。

○議員（2班 福庭 優君） 福庭優です。町報について町長に質問します。

北栄町報は全体的に文字数が多く、1つのページに対しての情報量がとても多いです。大人たちは読むかもしれませんが、高校生はあまり手に取らないと感じました。

倉吉市報と見比べてみると、同じ選挙のことを題材にしているのを見ても、そのページに関しては色が少なくとても読みにくかったです。若い人の考えを入れて発行することを提案します。

○議員（2班 丸山 晶君） 丸山晶です。新キャラを作り、夏味ちゃんやコナンとともにもっとPR活動をしてはどうかを町長にお聞きします。

イメージはauの三太郎物語のようなものです。中部の観光名所や食レポをするような活動を動画にし、ホームページやYou Tubeなどで流すのはどうでしょうか。

キャラクターを全国に募集したいと思います。または、青山剛昌先生に頼むのはどうでしょうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はじめに、福庭議員のご質問にお答えします。

町報についてのご提案でございます。

町報は、毎月月末に町内全戸にお配りしておりますが、20ページに収めるように紙面づくりをしているところであります。これは、平成23年に行った事業仕分けにおいて、コンパクトで

シンプルな紙面とするようにとの指摘を受けたもので、経費節減の効果もあることから、当時28ページだったものを段階的に減らし、現在の20ページとしているところでございます。

具体的に挙げられた選挙の記事について比較をしてみました。確かに、倉吉市に比べて文字数が多くなっていますが、北栄町では、倉吉市では行っていない出張期日前投票や期日前投票所への無料送迎バスの案内記事などがあり、同じ選挙であっても伝えなければならない情報に違いがあります。限られたページ数の中で、多くの情報を伝えたいところをご理解をいただきたいと思うところであります。

一方で、色使いによるみやすさにつきましては、ご指摘のとおり、もっと工夫があった方が読みやすい紙面になっただろうと感じております。今後は、より見やすい紙面にするため、色使いについても工夫をしていきたいと思っております。

また、発行する上で、若い人の考えを入れるということにつきましては、私も賛成でありますので、一つの方法として、町報に鳥取中央育英高校の情報発信コーナーを設けて、北栄町のまちづくりや地域探究の取り組みなどについて掲載いただけないでしょうか、と思っております。みなさんのような若者の視点に、私自身も興味を持っていますし、これまであまり読まれていなかった若い方も町報に関心をもっていただけるようになると思っておりますので、ぜひご協力をお願いします。また、実現に向けて今後掲載時期などについて、具体的に相談をさせていただければと思っております。

次に、丸山議員のご質問にお答えします。

新キャラをつくり、夏味ちゃんやコナンとともにもっとPR活動をしては、とのお尋ねでございます。

まず、auの三太郎物語のようなストーリー性のあるコマーシャルを制作して、観光名所や食レポを題材に動画にして、ホームページやYouTubeなどで流してはどうかのご提案でございます。

北栄町の見どころや魅力を、ホームページやYouTubeなどを活用して広く多くの方に配信する取り組みは、非常におもしろく興味深いものと考えております。ただ、ホームページやYouTubeで活用するPR動画を作成する場合には、キャラクターを演じる役者や衣装、脚本、音楽などの費用を含め、予算と時間が伴うことも想定されますので、きちんとした費用対効果を行わなくてはならないと考えております。

そうは申し上げましても、キャラクターを活用した動画によるPRは有効な手段と考えますので、先ほどのことを踏まえ、例えば「地域探究の時間」をとおして、議員をはじめ鳥取中央育英高等学校の高校生のみなさんから、斬新な意見をいただきながら実現に向けて検討していきたいと思っております。

また、青山剛昌先生にキャラクター依頼をしてはどうか、キャラクター全国募集の審査員になってもらってはどうかのご提案ですが、議員ご承知のとおり、青山先生は現在も「名探偵コナン」を連載されていることから大変お忙しい方で、1年間のうち、お休みは正月の三日だけとうかがっています。したがって、先生に今以上の関わりを持っていただくことは時間的になかなか困難なことであると考えていますが、「地域探究の時間」等で、青山先生の後輩である高校生のみなさんが熱意ある取り組みを行われる際には、小学館集英社プロダクションをとおして青山先生に何らかの関わりを持っていただけるかどうかを打診してみたいと考えてお

り、できれば先生に審査員等になっていただけるように強くお願いしてみたいと思います。

○議長（米田 渉君） 福庭優議員、丸山晶議員。

○議員（2班 福庭 優君、丸山 晶君） これで2班の質問は終わります。

○議長（米田 渉君） 以上で、福庭優議員、丸山晶議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（米田 渉君） 3班、岡野陸玖議員、植波航議員。

○議員（3班 岡野 陸玖君） 3班の岡野陸玖です。きれいな海、砂浜など自然の豊かさを知ってもらうために、清掃活動をイベント化して観光客を呼びこむことについて、町長にお聞きします。

清掃活動ということで人を集めるのは難しいと思う。そこで、清掃活動をイベント化してみてもどうか。例えば、清掃活動後にライブをする、地引き網をする、スイカ食べ放題、ナガイモのお土産などのイベントをすれば人が集まってくれると思う。そうすることによって、北栄町の海や砂浜のきれいさ、良さを知ってもらえ、観光客が集まり、地域の活性化につながると思うがどうか。

○議員（3班 植波 航君） 植波航です。全国高校生獅子舞甲子園のようなものやってみることについて、町長と教育委員長にお聞きします。

育英の「地域探究の時間」で瀬戸獅子舞を練習させていただいた。全国の、獅子舞を文化として引き継いでいる地域を集めて、コンテストのようなイベントを開催してはどうかと考えました。

瀬戸獅子舞に小中学生も参加すれば、継承され北栄町の活性化につながると思いました。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はじめに、岡野議員のご質問にお答えいたします。

清掃活動をイベント化することについてのご提案でございます。

このことにつきましては、すでに、昨年7月30日（土）に、中部総合事務所の林業振興課が、「天神川流域 森と海の交流プロジェクト」と題しまして、三朝町の森林で木の成長を妨げる雑草などの下草刈りをしたのち、川や海から流れ着いたごみを拾って、北栄町の海岸をきれいにする取り組みを行いました。約70名の方が参加し、森と海の関わりや自然の恵みは、森や海で働く人たちによって育まれていることを学び、最後は地引き網を皆で引上げ、海の豊かさを体験していただいたところでございます。

また、北栄町観光協会が主催となり、「橋の日」にちなんで毎年8月4日頃に橋の日イベントとしてコナン大橋とその周辺のコナンブロンズ像の清掃活動を行っています。このイベントでは、参加者を対象としたオリジナルコナングッズが当たる抽選会を行い、地域の企業や住民の方などをはじめ、県外からの参加者もあるイベントとして定着しているところです。この他にも、各自治会が主催する海岸清掃や、地域住民の方々で組織している大栄生涯学習まちづくり研究会が町内に広く参加者を呼びかけ、年間15回程度開催している「コナン通り清掃活動」も行っていますので、議員をはじめ、高校生のみなさんも参加いただければと考えております。

イベントをすることによってたくさんの人が集まり、そして、清掃し、自然の豊かさ、森や

海の恵みを感じていただければ幸いですので、このような取り組みもさらに続けていきたいと考えております。

次に、北栄町の家や砂浜のきれいさ、良さを知ってもらい、観光客が集まり地域の活性化につながると思うがどうか、とのお尋ねでございます。

現在、北栄町では、グリーンツーリズム研究会が発足して4年が経過しておりますが、活動としては、試験的に湖南省からのお客様を受け入れています。湖南省には海がなく、グリーンツーリズムのメニューには、ナガイモの掘り取り、野菜の収穫体験のほか、海岸線の夕日が沈む風景をご覧いただく時間を設けています。その反応は、やはり美しい海と風景に感動され、また来てみたいという思いにつながっています。

このことから、議員ご提案のとおり、私たちにとっては見慣れた風景の中にも、観光客や外からお越しのお客様には特別な風景となるものもあると考えています。こうした地域に眠っている資源をもう一度見直して、観光素材として磨き上げを行うなどの努力をしてまいりたいと思います。

議員も、このほかにもお気づきの点がございましたら、町へ申し添えていただけますと、それが地域活性化の一つとなる場合もあるかと思っております。今後も北栄町への関心を忘れることなく、お気にとめていただけますことをお願い申し上げる次第であります。

次に、植波議員のご質問にお答えします。

全国高校生獅子舞甲子園についてのご質問でございます。

地域で地道に活動をされている瀬戸の獅子舞に触れ、練習に参加していただいたことはとても喜ばしいことです。また、全国高校生獅子舞甲子園のようなイベントの開催についてご提案いただいたことを大変嬉しく思っています。

獅子舞には、全国的に行われている神楽獅子舞や因幡地方（東部）で始まった麒麟獅子舞があり、平成5年に行われた鳥取県民俗芸能緊急調査では、神楽獅子舞が県内に33、麒麟獅子舞が153確認されています。その中には、現在も活発に行われている地域もあります。また、全国各地でも非常にたくさんの地域で伝承をされ、活動が行われているところです。

一方、獅子舞などの伝統芸能の多くは後継者問題に課題を抱えています。瀬戸の獅子舞は、地道な活動をされる中、地域の子も達や大誠こども園に出かけ、獅子舞の指導を行い、次代を担う若者の育成に取り組まれたり、町成人式や各種イベントに出かけ、獅子舞の普及にも努められています。

このような中、全国的なイベント開催のご提案に頼もしいものを感じます。私は全国規模のコンテストなどイベントを開催していくためには、イベントの中心となって活動する団体がとても重要と考えています。議員の皆さん、例えば、高校で獅子舞クラブなどをつくっていただき、瀬戸獅子舞の皆様と連携し、他の高校などにも働きかけながら、まずは県内での交流を深めていただければ、まさに地域創生の重要な柱となり、子どもから大人まで地域の文化を共有でき活性化につながるのではないかと思います。そうすることによって獅子舞甲子園の土台ができ、全国大会開催へとつながってまいります。そうなれば、町といたしましても県などにも働きかけながら支援をしてまいりたいと考えています。大いに期待しておりますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

○議長（米田 渉君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） 全国高校生獅子舞甲子園についてのご質問です。

瀬戸の獅子舞の練習をしていく中で、植波議員は、獅子舞を文化として引き継いでいる地域を集めて全国高校生獅子舞甲子園を行っていけば、という思いがだんだんと膨らんでいったことはとても素晴らしいことだと思っています。

そこで、議員が思っておられるようなことを実現できるようにするためには、次のようなことが大切だと思います。大きなイベントをいていくには、まずは中心となる方々が強い思いをもって、地道に取り組んでいくことが何よりも大切だと思います。これからも、植波議員を中心として、瀬戸獅子舞保存会の皆さんと交流を深めながら、県内の高校生同士で賛同する仲間を募り交流していくことや、小中学生に働きかけたり、県内の獅子舞を行っている団体とも関わりを持つことも大切だと思います。その上で、県内の高校生たちが集まり、コンテスト的なものやイベントを開催していくという道筋が重要で、それが活性化にもつながっていくと考えます。ぜひとも皆さんが中心となって、全国高校生獅子舞甲子園実現に向けた取り組みが一步一步進むことを期待しています。また、教育委員会としても、そのような取り組みはしっかり支援していきたいと考えます。

○議長（米田 渉君） 3班、岡野議員。

○議員（3班 岡野 陸玖君） 町長に質問します。地引き網をしているところはありますか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 町内は海岸線が砂浜ということで、地引き網をしている団体があります。松神であったり、西園、あるいは妻波、大谷であったりとか、そういうところが地引き網をしておりますので、そういうシーズンになりますと大変たくさんの方に来ていただき、楽しんでいただいているというような状況であります。

高校生の皆さんも参加していただき、楽しくそういう海の恵みであったり、あるいは地引き網をして交流を深めていただければと思います。

○議長（米田 渉君） 質問を終わる時も手を挙げて発言してください。

○議長（米田 渉君） 3班、岡野陸玖議員、植波航議員。

○議員（3班 岡野 陸玖君、植波 航君） 以上で3班の質問は終わります。

○議長（米田 渉君） 以上で、岡野陸玖議員、植波航議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（米田 渉君） 4班、清水省吾議員、山根恵大議員、赤坂智輝議員。

○議員（4班 清水 省吾君） 清水省吾です。特産物のスイカを活用し、グッズを作ったりすることについて町長にお聞きします。

「北栄町スイカ条例」をつくり、北栄町をスイカの町にする。たとえば、ウエディングケーキ、時計、ヘルメットなど丸いものをスイカに変えてみてはどうでしょうか。

スイカにはトマト以上に、がん、老化現象に効果のある「リコピン」が多いことをご存じでしょうか。スイカのスムージーを飲むことでダイエットにも効果的です。北栄町のイベントの時に、試飲、販売につなげ、一つの産業になっていけばと考えます。

○議員（4班 山根 恵大君） 山根恵大です。県中部で飼育された鳥取和牛の直売所を、県外に

つくりPRしてはどうか町長にお聞きします。

県中部で飼育された和牛を、より新鮮で安全に消費者に食べてもらうため、鳥取和牛の直売所をつくってはどうか。まずは、中国地方から人気を得るために、中国地方で一番の都市である広島に拠点を置いてはどうか。

県内では安く、県外では高く値段を設定し、鳥取和牛を県内の旅館、ホテル、飲食店に卸し有名にしていく。そうすることで、県外の人に知ってもらうのはどうか。

また、有名シェフ・料理店とコラボし、知名度を上げていくのはどうか。

○議員（赤坂 智輝君） 赤坂智輝です。地元の食材を、学校給食にもっと提供することはできないだろうか、町長と教育委員長にお聞きします。

今ある地域の特産物をもっと食べてほしい。そのために、さまざまな食べ方や、今まで廃棄していたもの、例えばスイカを利用した献立など、学校給食で提供してはどうか。

小中学生に食の経験をしてもらうことで、今後の消費拡大や特産物を無駄なく食べることにつながるのではないのでしょうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はじめに、清水議員のご質問にお答えいたします。

特産物のスイカを活用し、グッズをつくったりしてはどうかとお尋ねでございます。

議員ご提案の「北栄町スイカ条例」でございますが、北栄町は大栄西瓜をはじめ、多様な農産物が生産され、そこには自信と誇りをもって意欲的に取り組む農家がたくさんおられます。スイカだけを条例化するよりも、農家を主役として、北栄町で生産される農産物を、生産者だけではなく消費者である我々も一緒に盛り上げていくことのほうがよいように思われます。北栄町は、まぎれもなく県下の「農業のまち」です。平成25年9月に「北栄町農業のまちづくり条例」、平成26年10月に「北栄町農業振興基本計画」を制定し、基本理念として「夢と希望の持てる農業のまち」を定めています。農業者だけでなく、高校生の皆さんや町民の皆様に、北栄町の農業に誇りを持っていただき、スイカをはじめとする北栄町の農業を次の世代へつなげていっていただきたいと考えているところです。

ウェディングケーキや、時計、ヘルメットなど、丸型のものをスイカに見立ててPRすることについてですが、とてもおもしろい取り組みといえます。どのような場面で活用する、どのようなものをスイカに見立てるとPR効果が高いのでしょうか。具体的な提案があれば検討してみたいと思います。現在、観光協会の自動販売機には、スイカやブドウ柄が施され、その自動販売機の売り上げの一部は、町の観光協会の財源の一部となって役立っています。皆さんも、駅や駐車場で見かけましたら、ご利用していただければと思います。

次に、スイカのスムージーをつくり、イベント時に試飲、販売につなげ、一つの産業としてはどうかとお尋ねでございます。

スイカには、リコピンをはじめビタミンAやビタミンB1・B2・Cなど多くの成分がバランスよく含まれています。しかし、これらの成分をうたい文句にして、商品の販売・PRを行うためには、保健機能食品制度といって、国が有効性や安全性を個別に審査し許可した特定保健用食品、いわゆるトクホや、事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品であることなどを表示していく必要があります、それには多大な費用も要します。

また、スイカだけを摂取していればダイエットになるなど誤解をまねくことも心配です。

スイカのスムージーが、町の一つの産業となることは非常によいことだと思います。しかし、商品を開発し、商業ベースにまで乗せ、一つの産業に育てるには、取り組みをされる方の相当な熱意と覚悟が必要であります。また、これまでスイカを活用した加工品、スイカチューハイ等も開発されていますが、スイカの独特の香りが残り商品化に苦慮しているところでもあります。町としては、引き続き6次産業化や農商工連携の取り組みを進められる方の支援を行ってまいるようにするところでもあります。

現在、北栄町では「食のうまい応援サポートの会」という任意の団体が、北栄砂丘まつりで、「北栄サイダー」といって、スイカやブドウ、ナシの果汁を加えたサイダーを、1本300円で、500本を販売してみました。

この会は、誰でもが参画でき、いろいろなご提案から商品開発を行って、北栄町の農産物のPRになればとの思いで活動しておられます。ぜひとも、高校生の皆さんにも参加をしていただければと思います。

次に、山根議員のご質問にお答えいたします。

県中部で畜産された鳥取和牛を扱った牛肉を、県外にPRすることについてのお尋ねでございます。

はじめに、鳥取和牛を扱った牛肉の直売所をつくってはどうかのご提案でございます。県内には、既に鳥取牛肉の直売所がございます。県外におきましても、関東を中心に鳥取牛肉取扱いの店舗が展開されているところでもあります。また、最近ではインターネットやふるさと納税を活用した産地直送なども盛んとなっていることを考えますと、設置や維持に多くの費用がかかる直売所を、新たに設置することは現実的ではないと思われまます。

議員仰せの鳥取牛肉をアピールするためには、現在の取扱店などの充実、拡大を図っていくことが最善と考えます。

あわせて、中国地方から人気を得るために、広島に拠点を置いてはどうかのご提案でございます。本県では、鳥取県に近い大消費地である関西圏を中心に、三大都市圏（東京・大阪・名古屋）において販路開拓及び消費拡大を進めており、高い評価をいただいているところでございますので、現在の取り組みを強化し、各都市圏の特性に合わせた販路拡大対策を展開していくべきであると考えています。

また、県外では高く、県内では安く価格設定し、県内旅館、ホテル、飲食店に卸し、知名度を高めてはどうかのご提案でございます。こちらにつきましては、役場が価格操作を行うことになりかねず、鳥取牛肉の評判、ひいては町全体の信頼を損ねることになるので考えていないところでもあります。

現在、県内の旅館、ホテル、飲食店における鳥取牛肉の取扱いは、既に、焼肉店のみならず多くの旅館、ホテルなどが独自の取り組みをいただいておりますので、PR活動につきましては、応援させていただければと思っているところです。

また、有名シェフ・料理店とコラボして知名度を上げていくのはどうかのご提案でございます。こちらにつきましても、和牛に特化したものではありませんが、県が主体となって、高級料理店において、著名なプロデューサーや有名料理人と連携したブランド化・ブランド力向上を目指す食材のPR活動を行なっておりますので、県や農協と協力し合って、知名度向上に取り組んでいきたいと思っているところでございます。

次に、赤坂議員のご質問にお答えいたします。

地元の食材を学校給食にもっと提供することはできないだろうかとのご質問です。

周知不足だったのかもしれませんが、実は、北栄町の学校給食は、地元の食材をできるだけ取り入れて献立にしています。できるだけロスが無いように、給食会女性会の協力を得て、形が不揃いの野菜なども食材に使っています。県内産の食材をどれだけ取り入れているかという指標、これを地産地消率といますが、北栄町は毎年上位をキープする中、昨年度は 97%で、県内で一番になりました。

「スイカを利用した献立を」と、ご質問いただきましたが、スイカにつきましては、スイカそのものをデザートとして提供していますが、スイカを加工しての献立は残念ながらまだありません。給食ですので「おいしい」が必要ですし、給食費という決められた予算でつくる必要があります。また、栄養価、調理時間のことなどいろいろなことがあり、まだ献立にはなっていないところでもあります。

皆さんから、スイカや地元食材を使った給食のメニューをご提案いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（米田 渉君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） 赤坂議員のご質問にお答えいたします。

学校給食にもっと地元の食材を提供しては、とのご質問です。

先ほどの町長答弁のとおり、北栄町の学校給食は、県内で一番地元の食材を使っています。地元食材を使った代表的な献立の例を紹介しますと、「砂丘ぶどうパン」「らっきょうのエコ・コロッケ」「長いものチーズ焼き」「20世紀梨サラダ」「トマトパン」などがあります。当然、スイカやブドウはそのままデザートとしても使っています。

毎月1日を「いいね北栄の日」として、北栄町特産の食材を献立に取り入れています。特産品を献立にすることで、児童・生徒に地元ですばらしい特産食材があることを伝えるようにしているところです。

また、小学校で「弁当の日」という事業を進めようとしており、この事業は、自分でメニューも考えて、調理もして、弁当につめて、学校に持ってくるという取り組みです。

皆さんは、お昼はどうしていますか。自分で弁当をつくっている方もあるかもしれませんが、地元の食材を使って、弁当をつくってみてください。そして、いい献立を教えてください。スイカを利用した献立についても、ぜひレシピの紹介を私からもお願いしたいと思います。

○議長（米田 渉君） 清水省吾議員。

○議員（4班 清水 吾君） 町長に質問です。水木しげるロードでは、街灯が目玉おやじなのをご存知でしょうか。それと同じように、北栄町内の街灯をスイカにかえてみてはどうでしょうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 水木しげるロード、目玉おやじの街灯が町を照らしているということで、大変観光の名所の一つにもなっているのだと思います。

街灯を、スイカにするか、コナンにするかということもあるわけですが、今、北栄町の由良宿には、コナンを使った街灯が設置されています。皆さんも、学校の帰りに通られて看板を見ておられると思いますが、あのような形でやっているところであり、できればそのようなコナ

ンのものをしていきたいと思っています。

また、多くの要求があれば、スイカの街灯というのも考えてみてもいいのではないかと思います。

○議長（米田 渉君） 清水省吾議員、山根恵大議員、赤坂智輝議員。

○議員（4班 清水 省吾君、山根 恵大君、赤坂 智輝君） これで4班の質問は終わります。

○議長（米田 渉君） 以上で、清水省吾議員、山根恵大議員、赤坂智輝議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（米田 渉君） 5班、横木琢也議員。

○議員（5班 横木 琢也君） 横木琢也です。ネイチャー&コナン大好き家族を呼び込む企画について、町長に質問します。

体験型観光の一つとして、北栄町の農業や豊かな自然を体験してもらい、北栄町のよさを知ってもらおう。

民泊をふやすことによって、長期間北栄町にとどまりよさを知ってもらう。そこからツイッター等の口コミで広がり、観光客も増える。町全体も活性化するのではないのでしょうか。

そこで、民泊を可能にする一つの案として、空き家バンク登録の17軒をリフォームし、県内外からオーナーを募集するというのはどうでしょうか。そのリフォームにかかる費用を町が補助することはできるでしょうか、町長にお聞きします。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 横木議員のご質問にお答えいたします。

ネイチャー&コナン大好き家族を呼び込む企画はどうかのご質問です。

体験型観光の一つとして、北栄町の農業や豊かな自然を体験してもらい、北栄町の良さを知ってもらう。民泊をふやすことによって、長期間滞在して北栄町のよさを知ってもらうのはどうかのご提案でございますが、現在、そうした取り組みを、任意の団体ですが北栄町グリーンツーリズム研究会が行っていらっしゃいます。平成25年度より、試験的に湖南省からの受け入れを行っており、農作業体験のほか、美しい北栄の砂浜や海岸を散策する時間なども設けて、北栄町のすばらしさを知っていただく取り組みを行っています。

また、北栄町の妻波地区には、「お試し住宅」を設置し、北栄町の生活を体験したり、就活や住まい探しをしていただいています。コナンが大好きなご家族もおられますが、実際に住んで生活するということの決め手にはなっていないように見受けられます。

議員ご指摘の民泊につきましては、規模にもよりますが、旅館業の資格とともに消防関連の届出などが必要ですし、飲食の提供を伴うとしますと、調理責任者の資格も必要です。現在、本町では簡易宿泊施設としては3件の登録のみで、いずれも北栄町グリーンツーリズム研究会の会員でございます。

町といたしましては、こうした資格の取得に対してかかる経費の2分の1の助成を行っていますが、なかなか拡大していかないのが実態でございます。

次に、民泊を可能にする案として、空き家情報バンク登録の17軒を改修し、県内外からオー

ナーを募集することについてでございますが、空き家情報バンクは、不動産の売買や賃貸の仲介をするものではなく、町内の空き家住宅を紹介し、宅建協会のお世話になって、売買や賃貸の契約を行って、安心な取引で移住していただく仕組みでございます。したがって、その物件を、オーナーの意向で民泊にするのも、別荘とするのも、購入者の判断だと思っております。

次に、リフォーム助成に町の補助は可能かとのお尋ねでございます。

北栄町では、県外から移住される場合で、空き家情報バンクに登録されている物件の所有者または、移住される方が売買及び賃貸で空き家を利用する場合にリフォームに係る費用の一部を助成しております。また、町民の方が居住する家のリフォームについても、費用の一部の助成を行っているところですが、民泊や別荘のためのリフォームの助成は行っていないところがあります。

○議長（米田 渉君） 横木琢也議員。

○議員（横木 琢也君） これで5班の質問は終わります。

○議長（米田 渉君） 以上で、横木琢也議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（米田 渉君） 6班、西村太朗議員、和田誉也議員。

○議員（6班 西村 太朗君） 西村太朗です。移住者を呼び込むことについて、町長と教育委員長に質問したいと思います。

例えば、智頭町では「森のようちえん・まるたんぼう」といって、幼稚園の拠点を森として子どもを森の中で遊ばせることにより、自然とふれあえるようにしている。それが自然とふれあわせたいという親の気持ちと重なり、子どもを持つ方々が他県からも移住してきています。

北栄町には海や山があり、農業も盛んであるので、よそでやっているよいところを取り入れ、海や山に行き自然の中で遊ばせたり、農業ではコメづくりの体験など、一年を通してこども園等でやってもらい、インターネットなどでPRしたりすれば移住者がふえるのではないのでしょうか。

○議員（6班 和田 誉也君） 和田誉也です。人が地域に残れるようにするための、施設や仕事場などの新設や誘致について町長に質問します。

人が地域に残れるようにするために、いろんな施設や仕事場をふやせばよいのではないかと。鳥取は自然のイメージが強いため、コナンと自然をコラボさせた施設などもよいのではないだろうか。

例えば、自然を生かしたコナン脱出ゲームなどのツアーを計画したり、そのための自然の整備の仕事、またツアー客が買い物したり休める施設などをつくって働いてもらうのはどうでしょうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はじめに、西村議員のご質問にお答えします。

移住者を呼び込むことについてのご質問です。

智頭町の森の幼稚園でございますが、森を教室として、一日中野外で過ごすという大変ユニ

ークな幼稚園だと思います。森の中で過ごし、体力、忍耐力、集中力が増すということで、子どもに自然保育を受けさせるために移住された方もあると聞いていますし、現在、鳥取市や伯耆町など県内に7園とふえていることから人気うかがわれます。

自然体験、農業体験など、よそで行われているよいところを取り入れてみては、とのご意見をいただきました。

北栄町でも、お台場公園などでの自然体験、田や畑での農業体験など多く取り入れており、また、その状況をフェイスブックなどで紹介をしていますが、森の幼稚園に比べると確かにインパクトが弱いと言わざるを得ません。

このような森の幼稚園は、園舎がないなど国による幼稚園の認可が得られないため、行政が設置することはできませんが、本町の森を生かして幼稚園をつくりたいという方がありましたら、県とともに町も支援をしてみたいと思います。

次に、和田議員のご質問にお答えします。

人が地域に残れるようにするための、施設や仕事場などの新設や誘致についてのご質問でございます。

まず、人が地域に残れるよう、色々な施設や仕事場をふやせばよいのではないかとのご提案でございます。

人が地域で生活し続けるために大切なものは、医療や福祉、職業や雇用、住まいの「医・職・住」であり、本町ではあらゆる施策を展開しております。

特に、北栄町にお住まいの方に働ける場を確保するため、毎週ハローワークの求人情報をホームページに掲載するほか、北栄町の企業紹介と求人情報をまとめた「企業ガイドブック」を作成し、中部地区の高校や鳥取短期大学などにお配りし、就職活動に役立てていただいているところです。

また、県の誘致企業で北栄町以外の中部1市3町に誘致された企業が、北栄町の方を常用雇用された場合、雇用1人につき30万円を助成し、雇用の確保に努力いただいた企業を応援する制度もあります。そのほかにも、北栄町に誘致した企業が事業所などを新設し、その事業所の建物や機械などの固定資産税相当を3年間にわたり助成するほか、雇用1人につき、30万円を助成しています。増築を行った場合でも北栄町の方の雇用の人数が減らなければ固定資産税相当の助成を行うなど、北栄町にお住まいの方の雇用を確保していただける企業や事業所を応援しているところであります。

また、新規に事業を思いつく創業への支援も行っています。鳥取県中部商工会産業支援センターなどで、経営者としてセミナーなどを受講して経営力を身に付けていただいた上で認定創業者となり、店舗や事業所を開設する際には、その開業に係る経費などを補助率2分の1で、上限100万円を助成するなど支援を行い、北栄町に新しい仕事場の創出にも力を入れてきているところです。

また、農業現場への人材紹介として、「農作業人材紹介センター」という農業版ハローワークにも取り組んでおります。

次に、鳥取は自然のイメージが強いため、コナンと自然をコラボさせた施設がよいのではないかとのお尋ねでございますが、現在、公共施設の壁面にはコナンのパネルが設置されています。これは、町と小学館集英社プロダクションとの契約によって、監修を受け実現したもので

ございます。仮に民間で、コナンなどの青山先生の作品を活用するというのであれば、その企業や事業所が、小学館集英社プロダクションと個別に契約をし、商品開発や自社施設へパネルなどを設置するように取り組みられるべきものでありますので、慎重に取り扱うべき内容だと考えております。

次に、自然を生かした「コナン脱出ゲーム」などのツアーを計画したり、自然の整備、ツアー客が買い物したり休める施設等をつくって雇用を生み出してはどうかとのお尋ねでございます。

まず、ツアー企画の件でございますが、ツアーを計画することは旅行業の資格がないとできない行為ですので、私たちにできることは、こういう観光商材があるということを旅行会社などに売り込み、旅行業の資格のある者がツアーに組み込みをしてくださるように、働きかけを行うことにとどめるべきということをご理解いただきたいと思います。

いずれにいたしましても、議員ご提案の「コナン脱出ゲーム」のようなこれまでの取り組みにはないような新しいアイデアは、非常におもしろそうなお提案であると考えております。来年度は、コナン通りの新たな楽しみ創出を目指して、AR（拡張現実）を活用した取り組みを計画しているところでありますので、高校生の皆様にもこうしたらもっと面白いのではないかとという手法があれば「地域探究の時間」などを通して、ぜひご提案いただければと考えています。

また、ツアー客が買い物をしたり休める施設等をつくって、雇用を生み出してはどうかとのお提案ですが、現在、旧免許試験場跡地である「出会いの広場」の一角において、北栄町商工会が実施主体となり、飲食や物販施設、休憩もできる集合店舗“「コナンの家」米花（べいか）商店街”を建設中でございます。この集合店舗には、ベーカリー&カフェ、ファストフード&軽食、ジェラート、コナンのお土産物店が入るものです。オープンしましたら観光客の皆さんをはじめ、ぜひとも、皆さんに立ち寄って楽しんでいただきたいと思います。

○議長（米田 渉君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） 西村議員のご質問にお答えいたします。

人口をふやすために、子ども園に自然や農業体験などを取り入れてはどうかとのお質問でございます。

智頭町の例がございましたが、智頭町は、町の9割を森林が占めており、その資源を最大限生かして子育てが行われています。

北栄町の場合、森林は9割もありませんが、海や砂丘があります。畑や田んぼもありますし、お台場や茶臼山など、こども園の周囲には自然がたくさんあります。これらを利用した自然体験のほか、農業体験もたくさん行っています。例を挙げますと、田んぼでは田植えから稲刈り、畑ではサツマイモの植え付け・収穫、ラッキョウの収穫とらっきょう漬体験など、地域やJA、シルバー人材センターなど幅広い世代と交流しながら、ほぼ一年を通して行っているところであります。

これらの様子をホームページやフェイスブックで紹介をしているところでございます。引き続き、保育・教育につきまして、議員からたくさんのご意見等いただきますようお願いいたします。

○議長（米田 渉君） 西村太朗議員、和田誉也議員。

- 議員（6班 西村 太朗君、和田 誉也君） これで6班の質問は終わります。
- 議長（米田 渉君） 以上で、西村太朗議員、和田誉也議員の一般質問を終わります。
次に進みます。
-

○議長（米田 渉君） 7班、山本一彰議員、小川元気議員、福見一城議員。

○議員（7班 山本 一彰君） 山本一彰です。北栄町図書館の旧車庫の活用法について、町長と教育委員長に質問します。

現在、旧車庫には展示物が置いてあるが、普段はシャッターが閉まっていて立ち寄る人が少なく、他に活用法がないかということで以下のことを提案します。

旧車庫をカフェに改装して、外から見て目立たないシャッターをガラス張りにし、店内には北栄町の特産物やコナンのグッズを販売し、観光客だけでなく地元の方々も気軽に立ち寄れる空間にしたらいいのではないのでしょうか。

○議員（7班 小川 元気君） 小川元気です。全天候型屋内競技場をつくることについて、町長と教育委員長に質問します。

女性の健康寿命の伸びは、北栄町の発展につながる。そのためにも適度な運動は大切である。

そこで、体育活動が天候に左右されることなくできる環境をつくる。買い物帰りに、グラウンドゴルフやターゲットバードゴルフなどの屋外競技がいつでもできる場所。通院の帰りに、その施設内でリハビリ等ができる場所。つまり、ドーム型競技場をつくるというのはどうだろうか。イベント等でも利用価値があると思います。

○議員（7班 福見 一城君） 福見一城です。鳥取県中部を活性化させるために、遊び場をふやして観光客も呼び込むことについて町長に質問します。

私たちは、「起業」について学びました。発表の最終目標として、鳥取に自分たちで起業するなら何をつくるかということを考えました。鳥取県にないもの考えると、遊園地がないことに気づきました。でも、建てたとしても天候が悪い日が多いため、利益が上がらないと聞きました。倉吉のボウリング場もなくなってしまったそうです。そのことから、Round1や島根県の湖遊館など、室内で年中遊べるようにドームの中が遊園地という施設を、飲食店もできる旧運転免許試験場跡地につくってはどうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はじめに、山本議員のご質問にお答えいたします。

北栄町図書館の旧車庫の活用についてのご質問です。

図書館車庫のシャッターをガラス張りにして、カフェに改装してはどうかについては、コナン通りのにぎわい創出は非常に重要だと考えておりますので、議員のご提案は大変よいアイデアだと思います。図書館はコナン駅に近くコナン通りに面していますので、情報発信や人々の交流の場所として非常に立地条件のよい場所に位置しています。このことをうまく生かすことが大切だと考えますので、観光客はもちろん、町民の憩いの場としても車庫を活用できるよう研究してみたいと考えているところであります。

次に、小川議員のご質問にお答えします。

全天候型屋内施設をつくってはどうかについてのご質問でございます。

議員の皆様のご提案はとても夢があり、健康のために象徴的な施設をつくり、イベントともあわせて行うということについてはとてもよいことだと思います。

一方、北栄町内には多くの体育館があり、新たな施設をつくるためには北栄町全体のことや財政状況も視野に入れながら検討をすることが必要となります。どんな施設になるかは別にしましても建設には相当な費用がかかることが見込まれます。

議員仰せのとおり、女性もですが、町民の健康寿命が延びることは北栄町の発展につながります。そのためには、町民が住み、訪れる場所で気軽に運動に親しめることはとても重要なこととあります。現在ある施設を活用しながら、いかなる方法を取れば運動に気軽に取り組めるかなど、今までの運動メニュー等も総合的に勘案し、健康寿命の延伸を進めてまいりたいと思っています。

次に、福見議員のご質問にお答えいたします。

鳥取県中部を活性化させるために、遊び場をふやして観光客も呼び込むことについてのご提案でございます。

ご提案のありました旧運転免許試験場跡地につきましては、新たにぎわいを創出する施設の設置が可能な場所であることは十分認識しておりますが、現在、鳥取県が美術館の建設について検討を行っているところであり、その建設候補地として、県内の4カ所の土地が選定されております。その中の1つに選ばれているところであります。

この土地への美術館建設が、鳥取県全体の活性化と、鳥取県民にとって非常に有益であると考えておりますので、美術館の誘致に邁進してまいりたいと思いますので、ご理解を願いたいと思います。

なお、室内遊技場をつくって、観光客を呼び込むことについてのご提案ですが、町民ニーズやサービス提供の必要性、また、町の施策の中で、公共施設としての優先度を総合的に判断いたしますと、決して高いものとは言えません。これについては、民間参入や民間活力に期待せざるを得ないと考えております。

議員仰せの、ボウリングなどができるRound 1は県内にはなく、近いところで岡山市、姫路市、広島県の福山市と広島市にございます。民間事業者がなされており、多くの来客の見込める都市部に建設をされております。ちなみに、ボウリング場は倉吉にありましたが、平成25年に閉鎖されました。また、室内スケートリンクがある島根県の湖遊館ですが、出雲市に建設されています。県内では、平成11年に米子、平成18年には鳥取のスケートリンクが閉鎖になり、県内には現在のところございません。このような状況ですので、町として整備し、運営していくことは、採算性の面からしてもリスクが高く困難な状況であるということは、ご理解をしていただきたいと思います。

町といたしましては、観光客を呼び込むために、名探偵コナンの作者青山剛昌さんが北栄町の出身であることから、その作品の原画等を展示している、世界でオンリーワンの青山剛昌ふるさと館を中心として、各種イベントの開催や、コナン通りにコナン君等のオブジェを設置して、観光客を呼び込む取り組みを行っているところでございます。

この青山剛昌ふるさと館と、県立美術館の相乗効果でさらに観光客を呼び込み、中部の温泉地で宿泊していただき、倉吉市の白壁土蔵群や、さらには県内観光地にも立ち寄っていただく

ことで、鳥取県中部の活性化と、さらには県全体の活性化につながるものと考えております。

なお、北栄町の屋外施設につきましては、北条オートキャンプ場やお台場公園、レークサイド大栄といった豊かな自然を生かした公園を整備しております。このように豊かな自然を生かした取り組みでもよいですし、訪れた方が楽しめるような取り組みや仕組みなどにつきまして、皆さんの若い発想力でアイデアをいただければ検討をさせていただきますので、ご提案をお願いしたいと思います。

○議長（米田 渉君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） 山本議員のご質問にお答えいたします。

図書館車庫をガラス張りにし、カフェに改装してはどうかについてのご質問でございます。

図書館は「知の拠点」として情報発信する場所であり、本を核として多くの人が集まるコミュニティセンターであります。図書館には図書館法という法律があり、その法律を守りながら運営しております。その中で、カフェを行うことや、特産物、コナングッズを販売することは、様々な課題を整理して進めていかなければならないところであり、議員が言われました、「いつでも誰でも気軽に立ち寄れる空間であること」は図書館にとってはとても大切なことでありますけれども、先ほどの、カフェとグッズの販売等につきましては、いろいろ課題があるというところであります。

現在、この車庫を団体貸出時の風雨の際の図書の積み込み作業の場所として利用したり、10月21日の鳥取県中部地震で被災したため、図書の整理をするための倉庫として活用している状況もありますので、これらのことも勘案しながら、コナン通りのにぎわいや、多くの町民により親しまれる場所となるよう、前向きに検討していきたいと考えています。

次に、小川議員のご質問にお答えします。

全天候型屋内施設をつくってはどうかについてのご質問です。

町長からもありましたとおり、町内にはB&G海洋センターをはじめ6つの体育館があり、町としても、ご利用いただきやすい施設となるよう維持管理に努めているところであります。また、北条砂丘公園センターには、ゲートボール場2面を有した屋内体育福祉施設「希望の館」もございます。

ご質問の、全天候型屋内競技場をつくってはどうかについてですが、町の保有している施設の現状、町の財政状況などを考慮いたしますと、新規に全天候型屋内競技場を建設することは非常に困難であり、雨天時の運動につきましては、今までにあります施設を有効活用していただきたいと考えます。

また、通院の帰りなどに施設内でリハビリ等ができる場所をとということですが、B&G海洋センターには、体育館のほかにトレーニングルームもございます。トレーニングルームには「トレッドミル」や「バイク」をはじめとする各種トレーニング機器がございますし、バランスボールなどの道具もご利用いただくことができます。また、北栄スポーツクラブが「シニアスポーツ教室」「はつらつ運動教室」を週に1~2回、定期的にB&G海洋センターと大栄体育館において実施しております。

体力の維持、運動機能の向上には、これらの運動事業を積極的にご利用いただきたいと考えています。あわせて、それぞれの屋内施設の利用においても、利用可能な範囲内で最大限ご活用いただくことが大切であると考えております。また、イベント等の開催においても、既存の

施設を活用することを前提とし、内容の充実したものを開催することが基本であるという考え方をしています。

できれば、議員の皆様も北栄町の体育施設の利用、北栄スポーツクラブの取り組みを知っていただき、スポーツを通じた健康づくりの一翼を担っていただけると大変ありがたく思うところです。

○議長（米田 渉君） 福見一城議員。

○議員（7 班 福見 一城君） 町長に再質問します。美術館を誘致して、もし美術館ができたとしたら、その美術館の屋上に遊園地などの施設をつくるのはどうでしょうか。

○議長（米田 渉君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 本当に美術館ができたなら、大変うれしいことですし、ありがたいなと思っているわけであります。ただ、美術館は県の施設になります。県がどういうものを建てていくかを考えていくわけでありますので、その内容等については、県の建設委員会であったりそういうところで議論されるものだと思っております。なかなか、屋上ということにはちょっとむずかしいかなと思っておりますが、そういうことでありますので理解をしていただければと思います。

○議長（米田 渉君） 山本一彰議員、小川元気議員、福見一城議員。

○議員（7 班 山本 一彰君、小川 元気君、福見 一城君） 以上で 7 班の一般質問は終わります。

○議長（米田 渉君） 以上で、山本一彰議員、小川元気議員、福見一城議員の一般質問を終わります。

○議長（米田 渉君） 以上をもって、本日の日程はすべて終了しました。

これにて、平成 28 年度北栄町高校生議会議会を閉会します。

どうもありがとうございました。

午前 11 時 05 分閉会

高校生議長あいさつ

○議長（米田 渉君） 本日は、議長という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。うまく進行できたかはわかりませんが、皆様のおかげでスムーズに議会を進めることができました。この経験を、少しでも将来に役立てられればと思います。本日は、本当にありがとうございました。

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員
